

アリス保育園 自己評価

平成30年度

運営管理

1	保育理念・基本方針を職員や保護者などに周知するために見やすい場所に掲示している	A (B) C D E
2	定期的な職員会議等を通して職員の資質向上、業務効率化の改善に努めている	A (B) C D E
3	園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	(A) B C D E

守秘義務

1	園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	A (B) C D E
2	園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	(A) B C D E

安全・危機管理

1	事故災害時マニュアルがあり、職員がすぐに見れるところにある	A (B) C D E
2	外部からの侵入者に対し対応策がなされ訓練が行われている	(A) B C D E
3	緊急時のために医療機関等の連絡先等が明示されている	(A) B C D E
4	園内の施設設備・遊具等の安全点検は定期的実施している	(A) B C D E

保育環境

1	保育環境を常に清潔に保ち、美観を大切に心地よい環境で保育ができるように努めている	(A) B C D E
2	室内の温度、湿度、換気、照度等は園児の活動に合わせて配慮している	(A) B C D E
3	季節の壁面制作などを飾り、保育の中で園児が季節感を感じるような配慮をしている	A (B) C D E
4	屋外での活動に場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている	(A) B C D E

健康管理・衛生

1	園児の健康管理は定期的実施され、その結果は職員や保護者に伝達され保育に反映させている	(A) B C D E
2	日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心掛けている	(A) B C D E
3	玩具・遊具等については常に衛生的に保持している	(A) B C D E
4	SIDS(乳幼児突然死症候群)や感染症等の予防やマニュアルが用意されている	(A) B C D E

保育内容

1	全ての園児について、一人ひとりの最善の利益とその人権を尊重している	A (B) C D E
2	園児に分かりやすい温かな言葉遣いで穏やかに話している	A (B) C D E
3	基本的な生活習慣は園児の発達を考慮し、家庭と連携して状況に応じて対応している	(A) B C D E
4	園児の発達に応じた玩具や遊具を質・量ともに適切に用意している	A (B) C D E
5	身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性を育む配慮をしている	A (B) C D E
6	園児同士の関わりで、順番を守るなどの社会的ルールを身につける配慮をしている	(A) B C D E

食育

1	旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	A (B) C D E
2	園児の発達に応じ食事の介護を適切に行い、落ち着いた環境で和やかに楽しく食事ができる環境がある	A (B) C D E
3	毎月の献立は保護者に示され、毎日の食事の状況を保護者に知られている	A (B) C D E
4	食物アレルギーのある園児は、栄養士と職員で密に連絡を取り除去食等で対応している	(A) B C D E

子育て支援・地域交流

1	園児の送迎時に園児の様子を保護者に伝えている	(A) B C D E
2	虐待防止マニュアルがあり、虐待の早期発見に努めている	A B (C) D E
3	保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	(A) B C D E
4	中高生の職場体験や実習生受け入れ体制について、その意義や方針を全職員が理解している	(A) B C D E

- 評価
- A:理想的な状態、達成出来ている状態
 - B:達成間近、取り組みなどを頑張っている状態
 - C:通常普通に行われている状態
 - D:頑張って取り組まなければいけない状態
 - E:ほとんど達成出来ていない状態

※この取り組みは、平成30年度に各職員から自己チェックリストを精査し、当保育園の自己評価を行いました。

この結果をしっかりと分析する中で、今後ますます、保育士等の専門性を高め、保育の質の向上を目指し、子どもの最善の利益を求めて毎年取り組んでまいります。

* 保育所保育指針に基づくもので今後も継続してまいります。